

市民との意見交換会・報告書

| | | |
|------------------|--|---|
| 開催日時 | 平成 24 年 8 月 22 日（水） 14 時 00 分 ～ 15 時 57 分 | |
| 開催時間記録 | 1 開会 (14:00-14:01) 2 会津若松市議会議長あいさつ (14:01-14:05) 3 参加議員紹介 (14:05-14:06) 4 進め方 (14:06-14:31) 5 意見交換 (14:31-15:57) 6 閉会 (15:57) | |
| 開催場所 | 生涯学習総合センター（會津稽古堂）研修室 2 | |
| 出席議員 (広報広聴委員) | 出席者 | 松崎 新、樋川 誠、古川雄一、中島好路、佐野和枝、斎藤基雄、 小林作一、佐藤義之、目黒章三郎 |
| | 欠席者 | なし |
| 参加者数 | 10 名（他 当局 2 名） | |
| 主な意見・提 言・要望事項 | <p>●議会に対する期待・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐野議員の 6 月定例会一般質問、地域ネットワークボランティア事業についての 当局回答の説明を 佐野議員回答 （当局回答が市民に伝わらないための質問） ・初めての参加、評価し期待する。地区別、分野別意見交換会、声なき声を生かしても らいたい、目に見えないものが大事である。市民の参加が少ないのが実態。行政地区 の参加は男性が多い。分野別の開催が少ない、参加する場を作っていただきたい ・防犯灯電気料補助金について、防犯灯の問題、日中帯に点灯している。担当課に言 っているが、直らない。節電と言っているがどうなっているのか。点検すべきである ・市民との意見交換会は目的をもって、内容を絞って行っていただきたい。本市は、 男女共同参画の歴史を持っている、行事には議員も参加してもらっている。男女参画 推進条例がある。市で条例を作っているところは多くあるが、議会で条例化したとこ ろは少ない。条例ができて感激した。その後問題がある。分野別として取り上げてい ていただきたい ・7 月 26 日ネットワーク会議 要望、市制 100 周年の年に制定された。男女共同参画 都市宣言の継続活動が乏しい。駅前に広告塔の提示が必要、男女共同参画が広まらな い。来年度の八重の桜の放映は、アピールのチャンス。運動の継続が見えていない。議 員の力添え、行政と私どもの協力関係 ⇒（議会と当局立場の違いを理解してもらいたい。執行権と議決と監視。個別政策事 | |

案については別の機会での討議を)

・男女共同参画条例、進行管理を議会に行っているのか
⇒ (意見交換会では今まで男女共同参画についての意見は出たことがなかった。男女参画推進条例がどのように市民に認識され、広がっているかのお話も聞きたい)

・条例制定後10年、勢いが良かったが停滞している。推進プラン5年ごとの進行管理をみても、かわっていない部分が大部分ある。特に男女の意識の面、まだまだかわっていない。地方自治について分からないが、市議会は国会と理解している。議会の提案について、市政に生かしてもらいたい。議会の後押しを要望する

⇒ (市民生活、様々な課題がある。30名の議員、それぞれの思いや問題意識を持って立候補してきた。一人がすべて精通しているものでない。民主主義はお任せ民主主義ではない、住民の問題意識と議員の結びつきが重要である)

⇒ (看板の効果、受け止めたい。)

・議員の方々が市民の意見を聞きながら意見交換会を進めることに感心する。取り組みの度合いがかわってくる、今後もこの姿勢で行ってもらいたい。男女共同参画の大義名分はあるが中身が進まない、最近停滞している。活動拠点である事務所の貸与をお願いしてきた。旧学鳳高校跡が実現できなかった

●課題解決のための考え方やアドバイス

・今年の3月の「ふれあいの日」に市に要望書を出したが、すぐに回答が来ない。市民参加をする行政を作っていただきたい。回答が遅すぎる

・火事後の手伝いについて、私が元住んでいた所では住民が行っていたが、会津若松市の住民は行わないのか

・環境条例があるのか。会津若松市は観光地でありながら汚い

・平成17年11月1日合併、人口が133,000人、減少9,000人市政が衰えている。議会はどのように受け止めているか。区長と市長の意見交換1年1回行っている、地域要望を伝えている。要望の実現は市長と議会では市長に伝えたほうが実現できるので参加が議会のほうは少ない。

・スポーツ公園、駐車場の問題

●今後の広報広聴のあり方

・その方の問題意識があるので、時間帯は様々である。広報編集は充実している。市民の文化レベルのメジャーである。アンケートを行っていただきたい

⇒ (議会への手紙があってもいいのかと思ったところ)

| | |
|----------------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・大戸、湊、河東、一箕、市と言えば全体を考えていただきたい。会議設定は明るいうちが良い。広報誌は素晴らしい、捨てる時、躊躇する。八重の桜注目している。観光客が増えることはよい。問題は、会津が取り上げられるのは1 / 3である。男女共同参画の先駆者である。一過性で終わらせることなく会津人の勤勉さが伝わるようにしたい ・男女共同参画の衰退、議会、議員は条例を分かっているのか。勉強しているのかと考える <p>⇒（議長のもとに分野別意見交換会の申し入れをしていただきたい）</p> |
| <p>その他 会場の雰囲気 ・反省点など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の問題、男女共同参画の皆様が来てくれたのでよかった。市民の関心をどのようにしていくのが課題 ・趣旨に沿った発言が少なかったが、「アンケートの提案があった」機会があれば行っていただきたい。分野別意見交換の場をもっと行ってよいのではないか。団体の要望を待つのでなく議会から働きかける事が必要 ・分野別の働きかけ、様々な団体がある。 ・議会が待っているのではなく、出ていくことが重要。男女共同参画の方々の思いが聞けてよかった。 ・心配はしたが、進め方は難しかった。男女共同参画のメンバーに偏った意見交換になってしまった。分野別もっとテーマを絞って行うべき ・委員会として、15地区を行ってきていた反省。具体的に聞いても良かったのでは。開催場所、時間の検討。参加者が集まらないとどこで行っても、意識がないと集まらない。「開かれた良い議会」のことが広がれば参加者が増えてくる。発言を受けてもう一歩進める意見交換があればよかった。 ・意見交換会を続けることが大事。15地区+1その1が必要。 ・分野別について今までの形式でなく、専門性を持つ分野別があつてよいのではないか。常任委員会で行うべき、通年議会の関係がある。 |

会津若松市議会議長 様

平成24年8月22日

市民との意見交換会実施要領2(11)により提出します。

広報広聴委員会

委員長 松 崎 新